

# 予実管理ダッシュボードの内製開発

小林誠

香川大学情報化推進統合拠点DX推進研究センター／香川大学大学院創発科学研究科

## 1. はじめに

- 国立大学を取り巻く財務状況が悪化している
- 香川大学では、財務会計システムから出力したデータをもとに、部局独自の管理用ファイルにまとめ直して、執行状況の管理をしている
- 教員に執行状況のデータをまとめたタイミングで、都度執行状況を通知している  
→定期的に作業をおこなわなければ、予算執行状況を確認できない
- 年度末に予算執行が急増し、相対的に処理業務も集中する

## 2. 予実管理ダッシュボードの開発

- 予実管理ダッシュボードはMicrosoft Power PlatformのPower Automate DesktopとPower BIを用いて開発した
- 財務会計システムから定期的にデータを取得し、リアルタイムで可視化をおこなう
- メールにて、定期的に教員に執行状況の通知がおこなわれるようにする

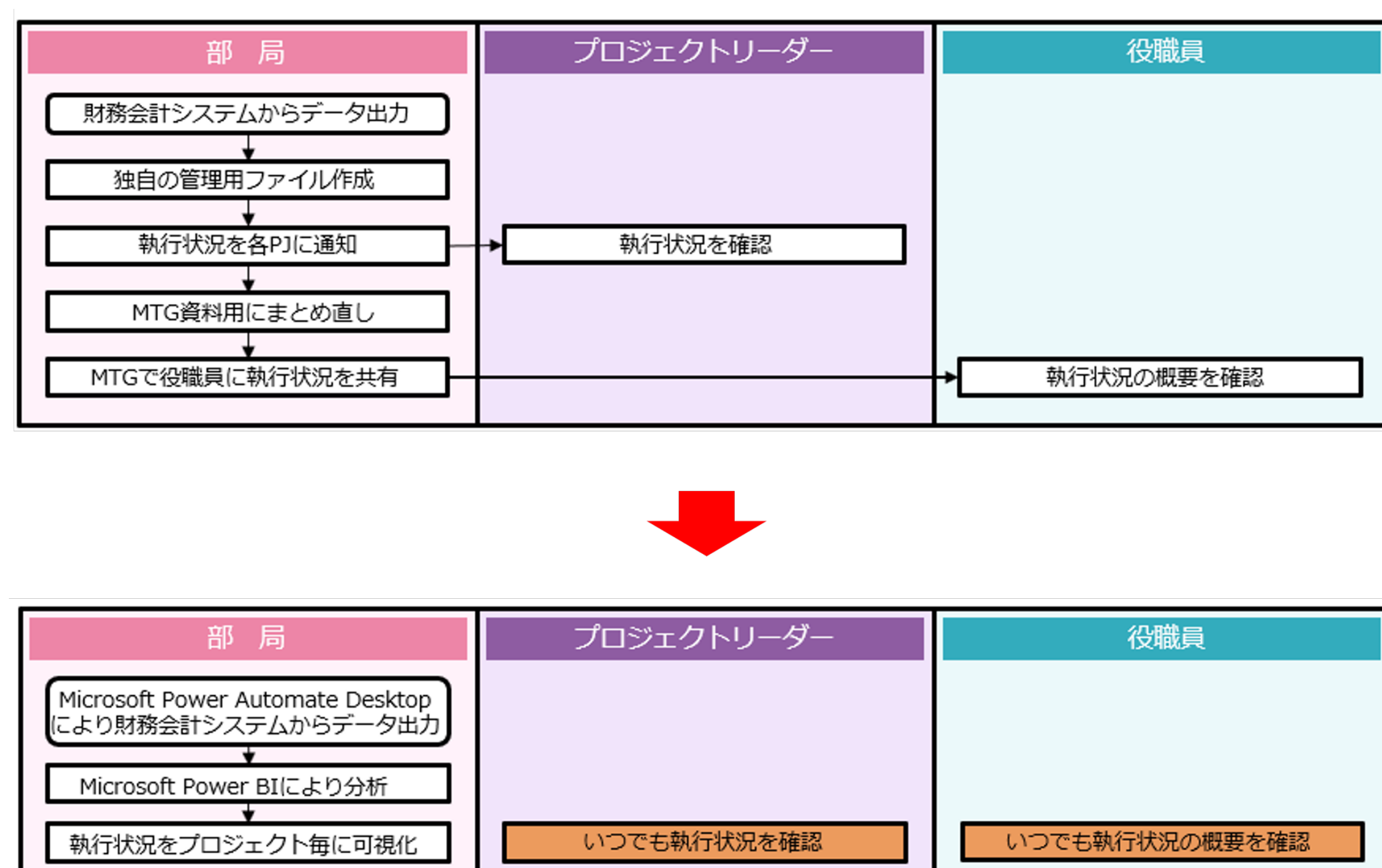


図 開発前と開発後のイメージ

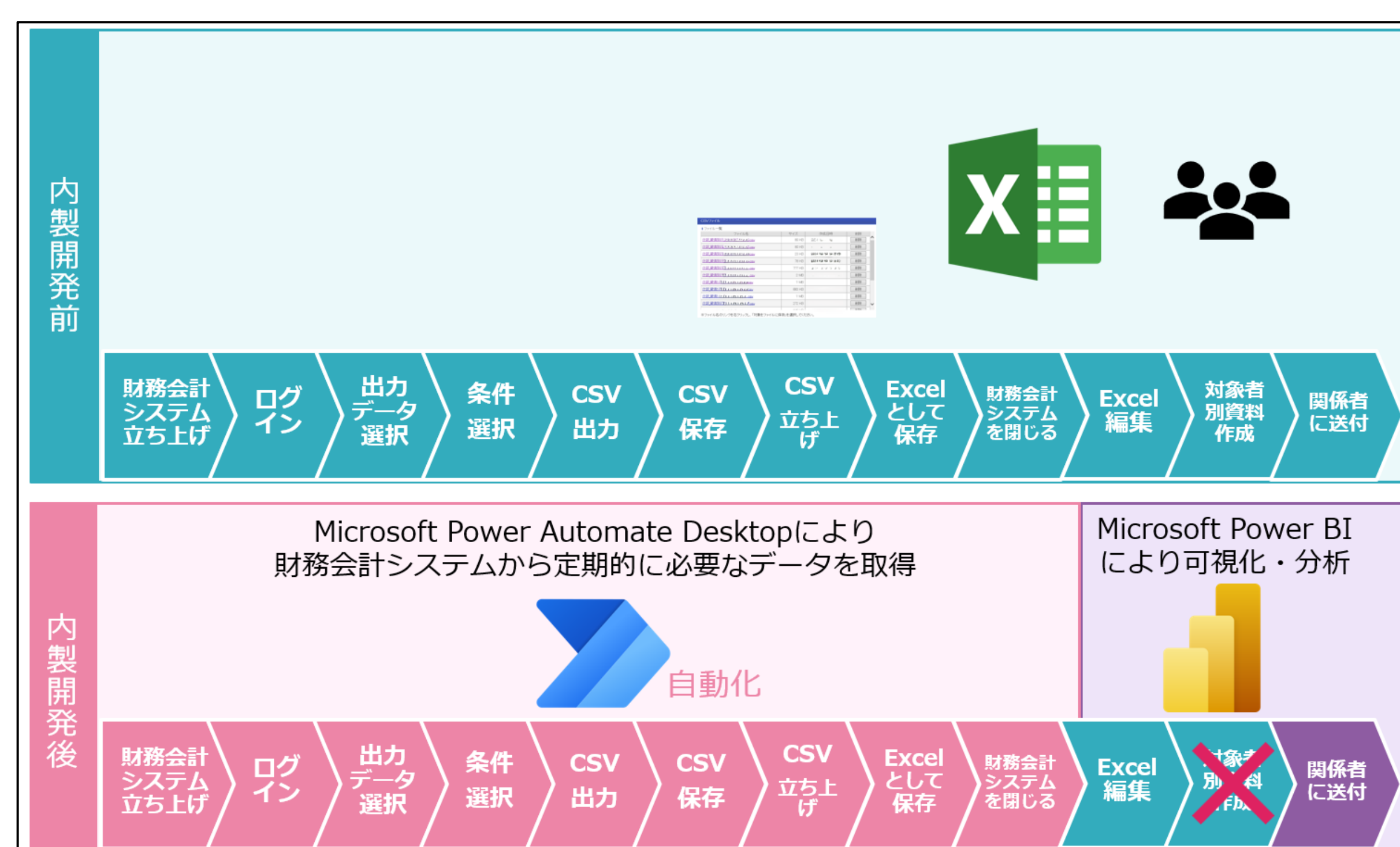


図 データの出力から可視化までの流れ

## 3. 予実管理ダッシュボードの機能

- Overall Report : 大学全体や部局レベルでの財務状況を俯瞰でき、管理者向けに提供される
- Management Report : 事務管理職が各プロジェクトの進捗状況を一目で識別できる
- Detailed Report : プロジェクトリーダーや担当事務が各プロジェクトの詳細な支出状況を把握できる
- 通知機能 : 毎月1日に予算執行状況をメールで通知し、計画的な支出を促進する

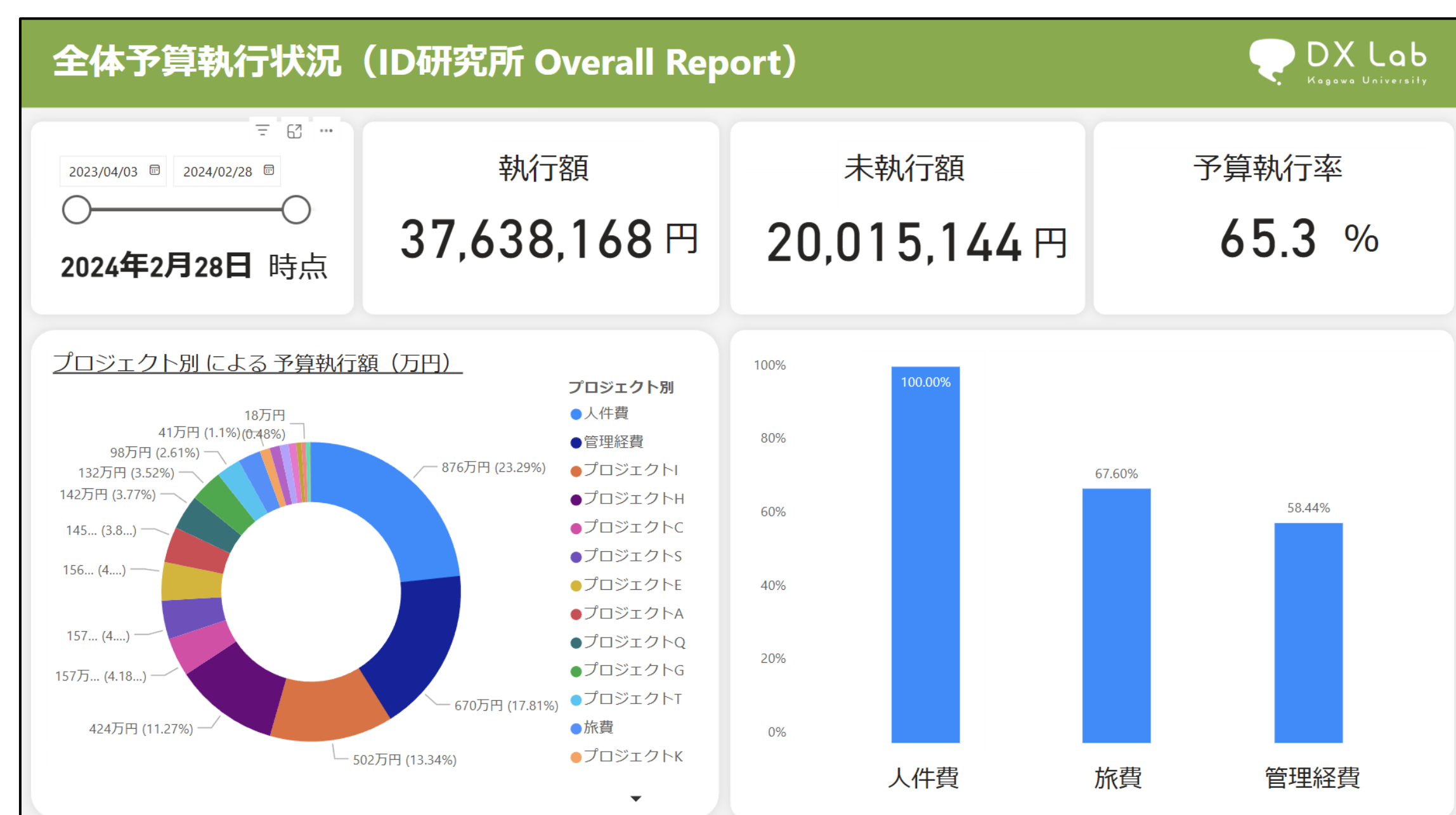


図 Overall Report

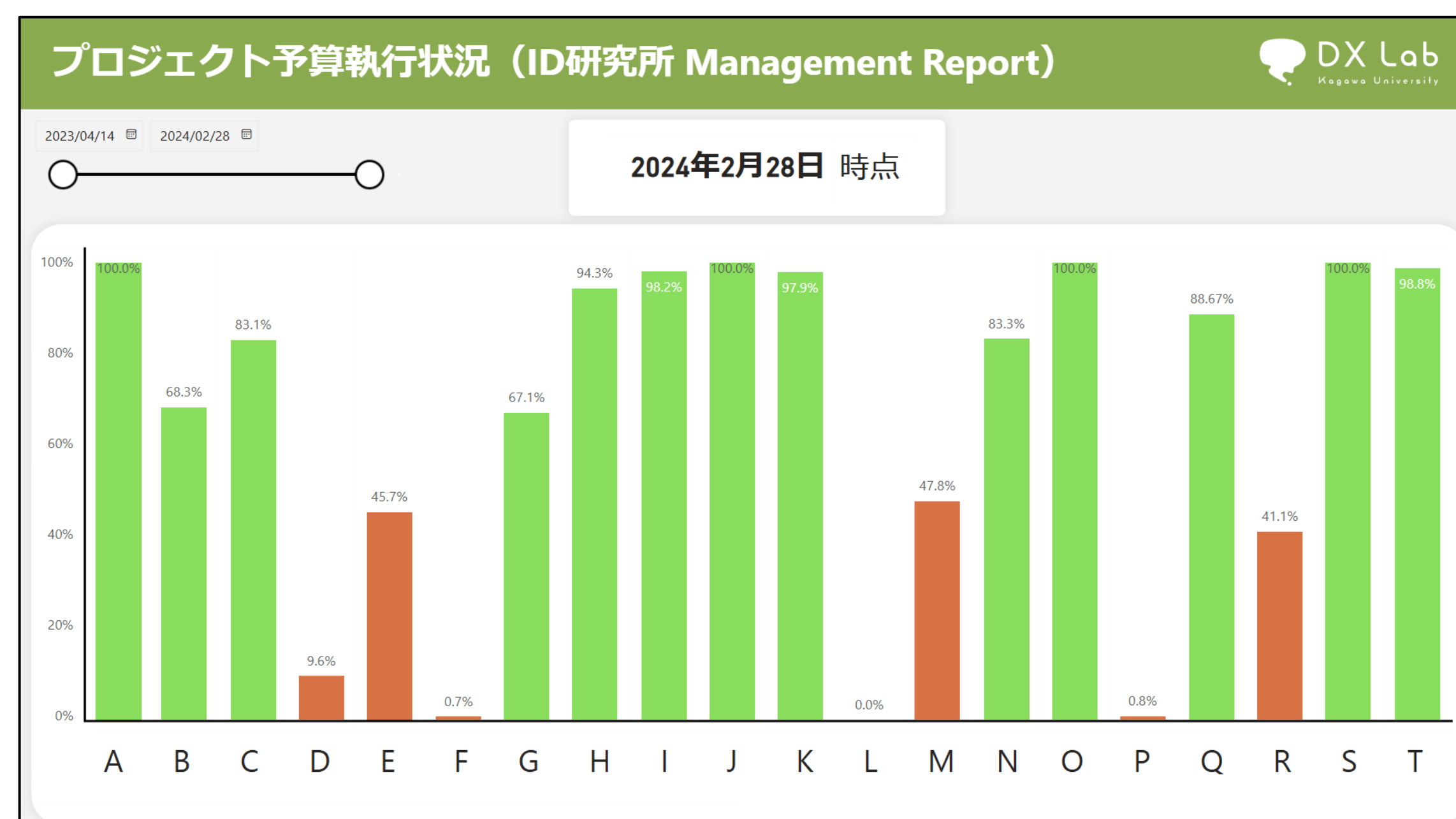


図 Management Report

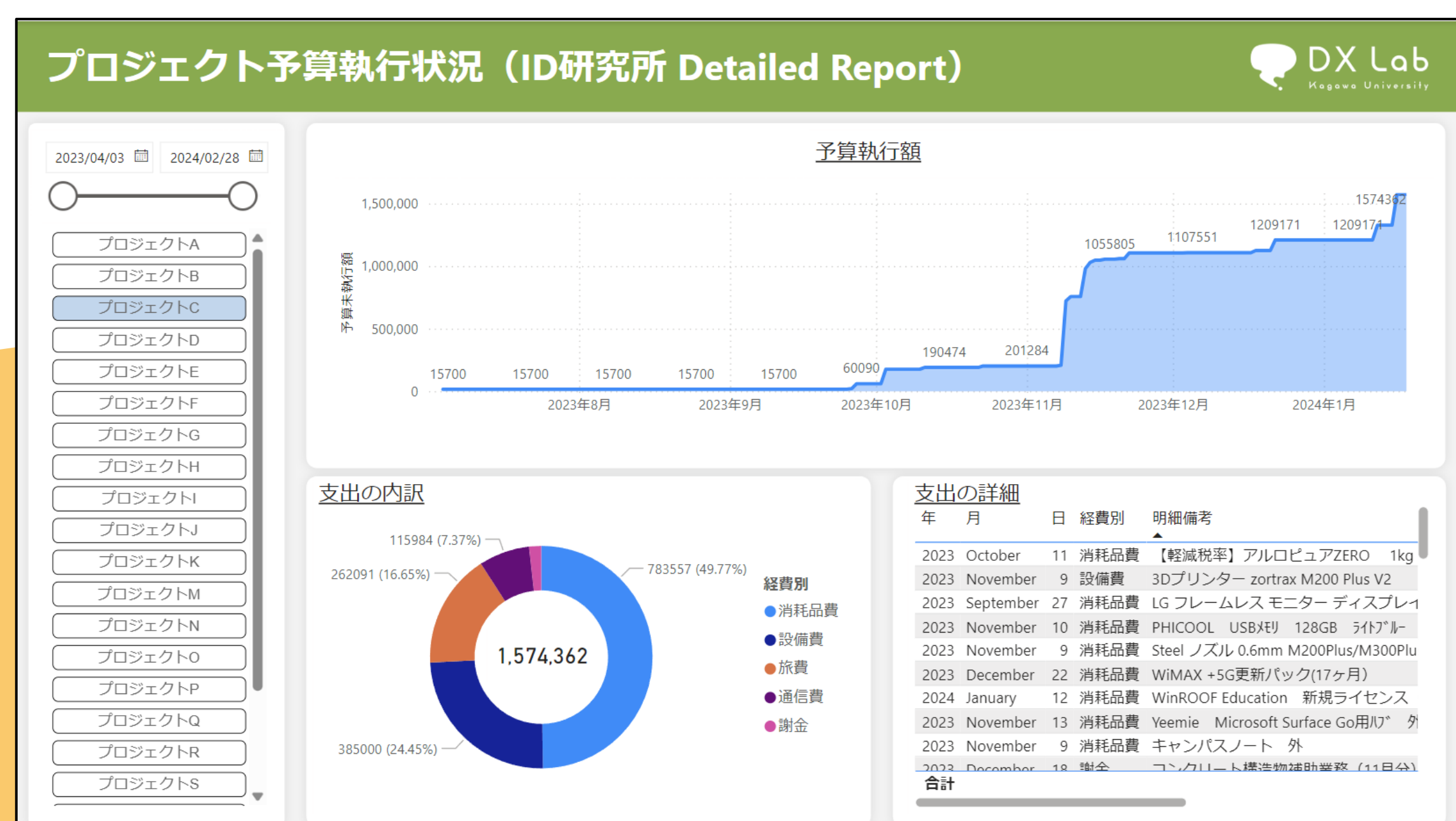


図 Detailed Report

## 4. まとめ

- データ収集・処理の手間を削減し、業務負担を軽減することができる
- 予算執行の可視化により、迅速な意思決定を支援できる
- 通知機能により、計画的な予算執行を促進する